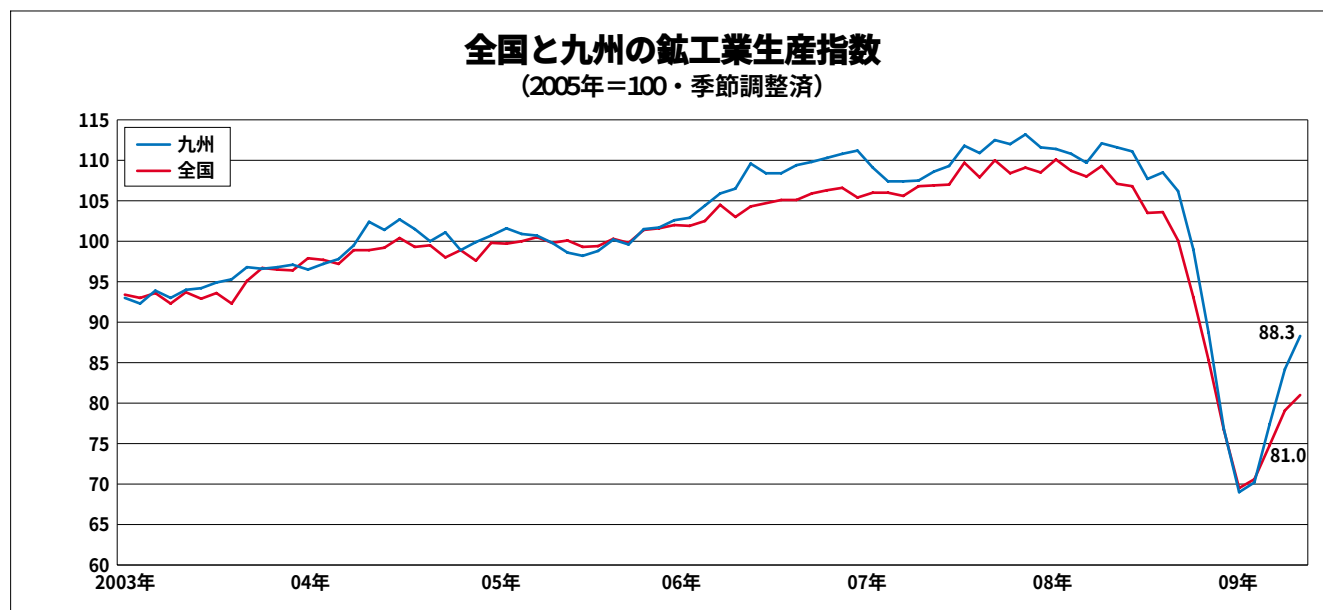


九州の鉱工業生産動向

[基調判断]…………在庫調整の進展などにより、持ち直しで推移している

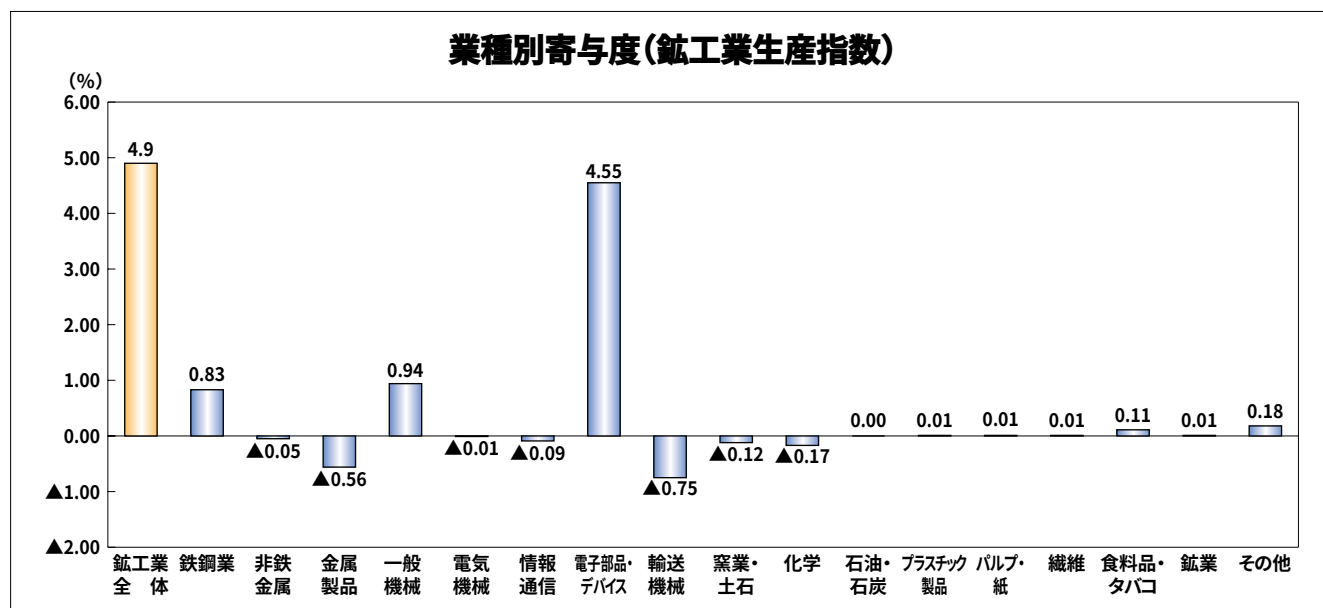
2009年6月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、在庫調整などが進展しており、前月比4.9%上昇し4ヵ月連続で前月実績を上回りました。九州地区の生産には全国を上回る勢いで持ち直しの動きがみられます。



(出所)九州経済産業局

[業種別動向]…………電子部品・デバイス工業が大きく上昇

鉱工業生産指数の前月比4.9%上昇について、業種別に寄与度を見ると、輸送機械、金属製品などでマイナスになったものの、ゲーム機やデジタル家電などに使う製品の需要が堅調だったこともあり、電子部品・デバイス工業など全17業種中9業種でプラスとなりました。



(出所)九州経済産業局

福岡県の最近の経済動向

[福岡県の景気]……………生産活動で持ち直しの動き

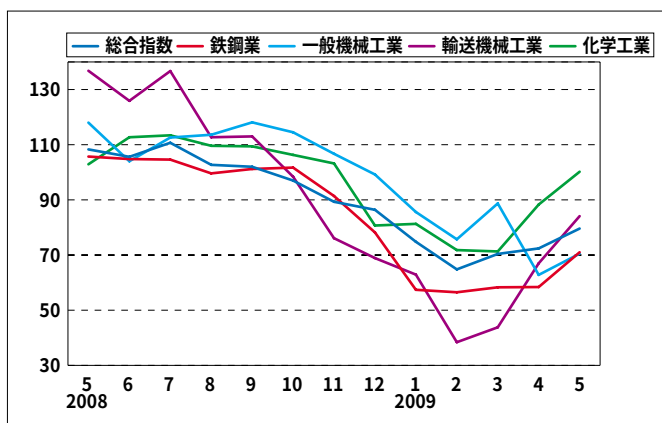
生産活動は、多くの業種で持ち直しの動きが見られます。

しかしながら消費は依然として生活防衛意識が強く、大型小売店販売額は前年を下回っています。また、住宅投資や公共投資でも前年を下回りました。企業倒産も、件数、負債総額ともに増加しました。

福岡県の景気は、厳しい情勢にあるものの、生産活動などが持ち直し、回復の兆しが出てきているといえます。

[生産活動]……………総合指数は3ヵ月連続で上昇

福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



(出所)福岡県

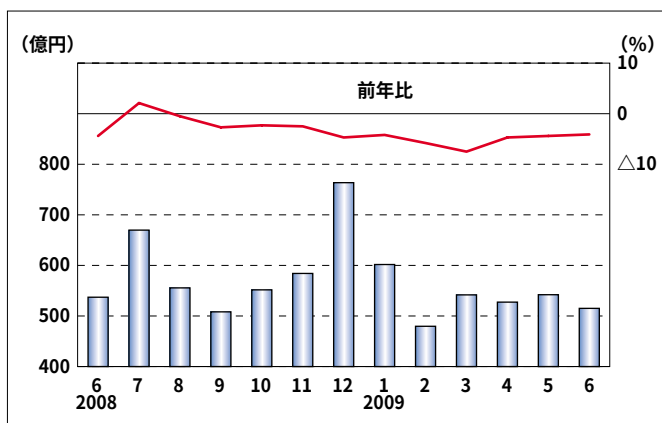
5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、基幹産業である自動車や鉄鋼などで減産幅を緩和したことなどの影響で、総合指数は79.6と、前月比9.9%上昇しました。

総合指数の上昇は3ヵ月連続となり、生産活動は持ち直しているといえます。

主要業種では、すべての業種が上昇で推移しており、鉄鋼は前月比21.6%、一般機械は前月比12.3%、輸送機械は前月比25.5%、化学は前月比13.5%の上昇率でした。

[大型小売店]……………百貨店は減少、大型スーパーは微増

福岡県の大型小売店販売額



(出所)九州経済産業局

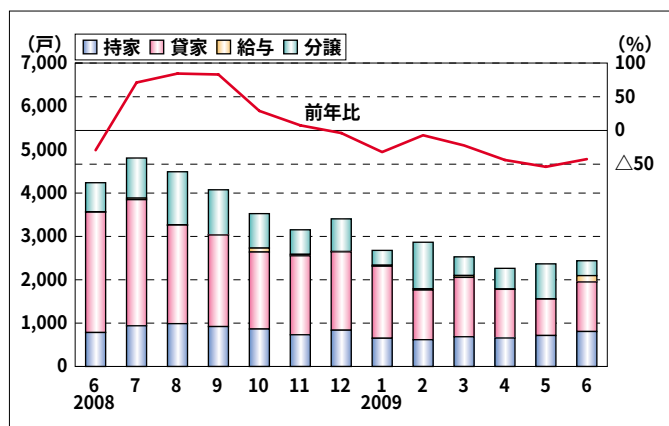
百貨店では、バーゲンセールの前倒しにより婦人衣料などに動きが見られましたが、販売額の伸びる日曜日が1日少なかったことなども響き売上を伸ばせず前年比9.2%減となりました。

一方スーパーは、消費者が外食を控える節約志向の影響で、商品単価は下落傾向にあるものの食料品が堅調で、前年比0.1%増加しました。

トータルでは前年比4.0%減の515億円となり、依然として消費者の生活防衛意識が強く働いているようです。

[住宅建設]……………貸家・分譲の減少が著しく7ヵ月連続の前年割れ

福岡県の新設住宅着工戸数



(出所)国土交通省

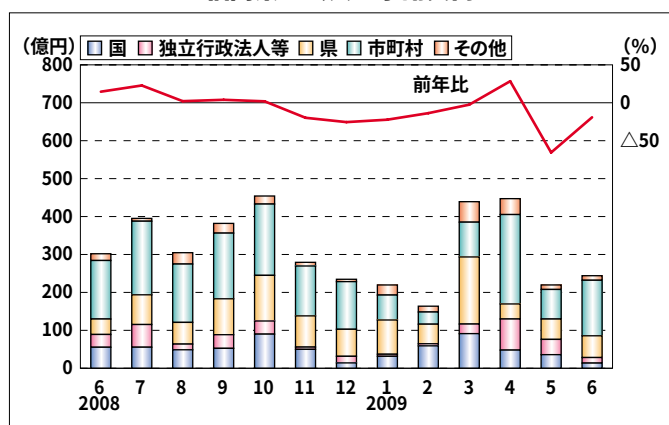
6月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比2.9%増の807戸、貸家で同58.8%減の1,143戸、分譲で同48.7%減の343戸となり、全体では同42.5%減の2,439戸となりました。

前年同月と比較すると貸家・分譲の着工が著しく減少していますが、これは住宅分野の市場の冷え込みから、在庫処分を優先させる業者の動向が、着工を抑制しているためと考えられます。

そのような中、持ち家では前年比で増加しています。長期優良住宅制度が6月から始まったことが影響していると考えられます。

[公共工事]……………件数は増加、請負金額は減少

福岡県の公共工事請負高



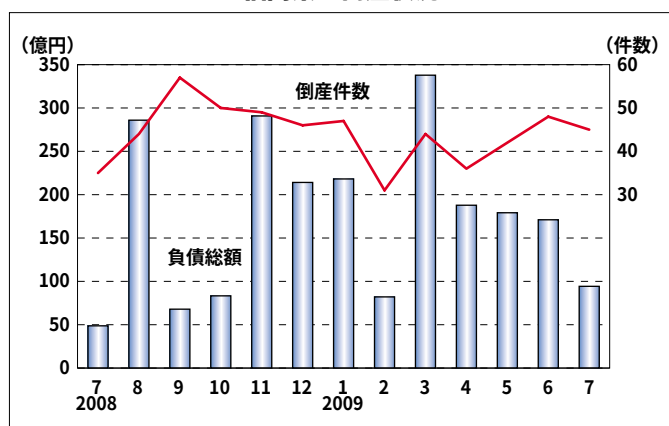
(出所)西日本建設業保証

6月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数については政府の景気対策の効果もあって前年比17.6%増の636件となりましたが、金額は同19.2%減の244億円となりました。

発注者別では、「県」が藤波ダム建設の大型案件などで前年比40.6%増となりましたが、「国」「独立行政法人」「市町村」「その他公共的団体」で発注が減少しました。

[企業倒産]……………倒産件数、負債総額ともに増加

福岡県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

7月の福岡県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、前月比では件数、金額とも減少しているものの、前年比では件数は10件増加の45件、負債総額は同93.6%増となる94億円となりました。

スーパー経営の大型倒産(負債総額16億円)が発生したほか、中小企業の資金繰りを支援する緊急保証制度を利用した企業の倒産も発生しており、先行きは不透明です。

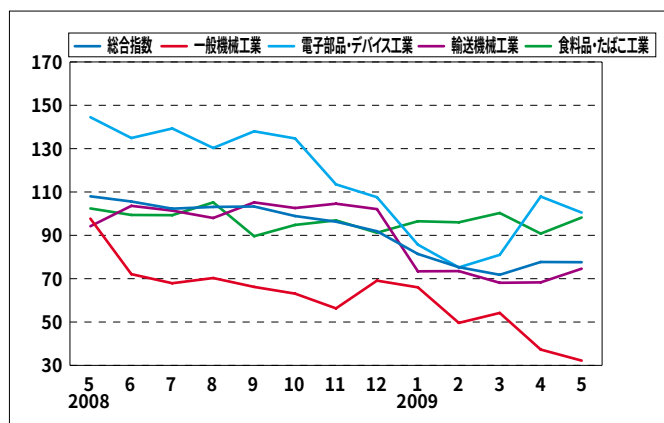
熊本県の最近の経済動向

[熊本県の景気]……………厳しいながら回復の兆しもみられる

生産面では、電子部品・デバイスなどは低下したものの、総合指数はほぼ前月並みとなりました。個人消費は所得環境の悪化などにより節約志向が続いていますが、住宅建設は貸家の増加でプラスとなるなど明るい材料もみられます。公共工事は九州新幹線関連工事などにより一服感が見られますが、企業倒産は低水準で推移するなど、厳しいながら回復の兆しもみられます。

[生産活動]……………電子部品・デバイスや一般機械が低下し、総合指数は横ばい

熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



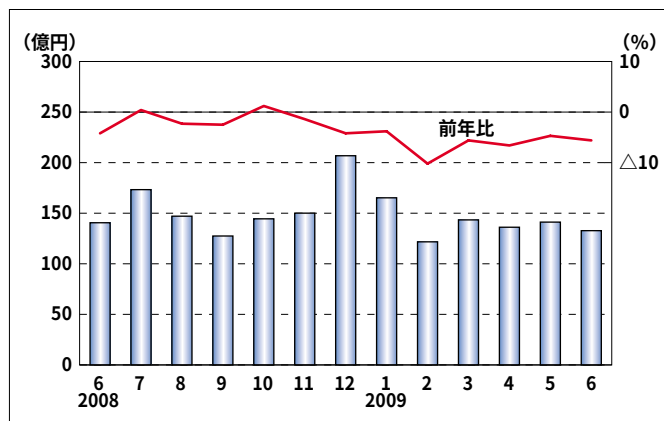
(出所)熊本県

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は前月比0.1%低下し77.6となりました。

輸送機械や食料品・たばこは前月比上昇しましたが、集積回路の減産による電子部品・デバイスや、特殊産業機械など一般機械は低下したため、総合指数としては先月からほぼ横ばいとなっています。

[大型小売店]……………節約志向で紳士服や家具の落ち込み大きく前年比5.6%減

熊本県の大型小売店販売額

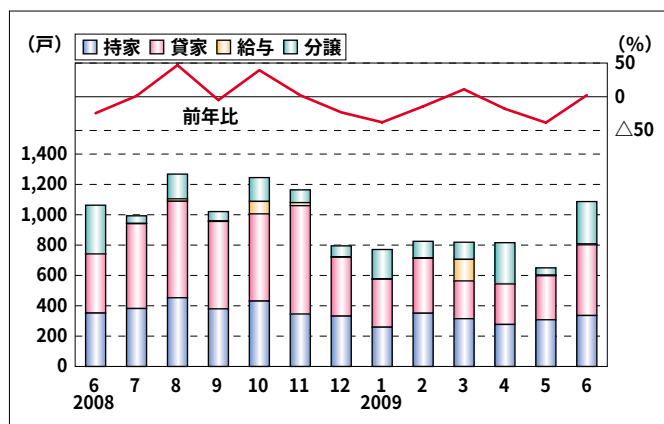


(出所)九州経済産業局

6月の県内大型小売店販売高は、販売額が伸びる日曜日が昨年より1日少なかったこともあり、前年比5.6%減の133億円と前年実績を下回りました。紳士服や家具などが大きく落ち込むなか、お中元ギフトの早期受注などで食品には動きが見られ、前年同月比2.6%減少とマイナス幅は小幅でした。

[住宅建設]……………貸家の増加などで前年比2.3%増

熊本県の新設住宅着工戸数

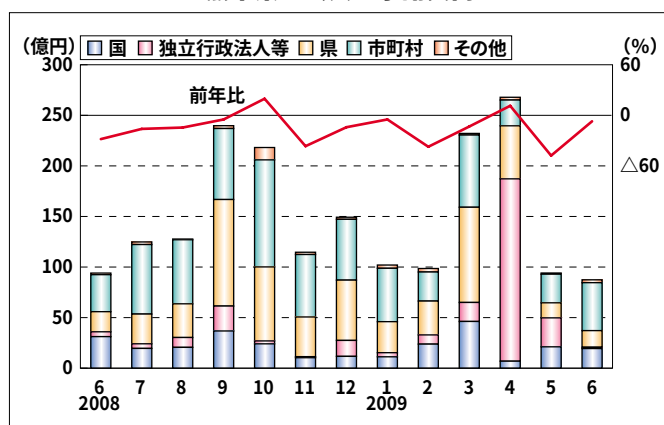


(出所)国土交通省

6月の新設住宅着工戸数は、全体では前年比2.3%増の1,087戸と、前年を上回りました。持家で前年比4.5%減の466戸、分譲は同12.5%減の280戸となりましたが、昨年12月以来、着工を見合わせていた貸家に動きがみられ、同19.5%増の466戸と大きく増加しました。

[公共工事]……………件数、請負金額ともに減少

熊本県の公共工事請負高



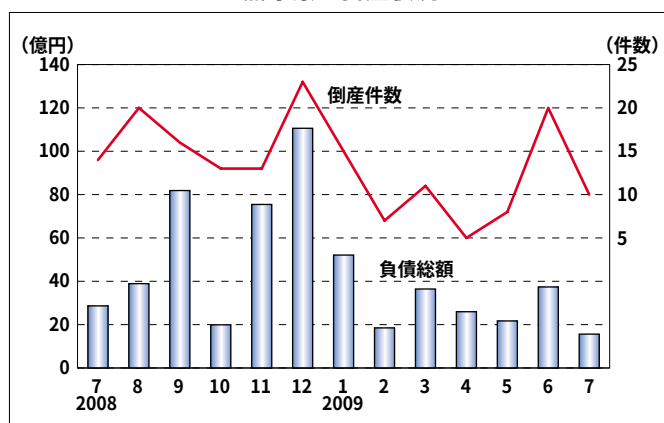
(出所)西日本建設業保証

6月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比4.8%減の317件、金額が同7.1%減の87億円と、件数、請負金額ともに前年同月を下回りました。

発注者別の請負金額をみると、「国」は同37.8%減、「独立行政法人等」は九州新幹線関連工事が発生せず同72.0%減となり、「県」は同17.5%減、「市町村」で同29.6%増、「その他」で同77.7%増と、合計では前年を下回りました。

[企業倒産]……………件数、負債総額ともに低水準

熊本県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

7月の熊本県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比28.6%減の10件、負債総額が同45.5%減の15億6,200万円となりました。緊急融資制度の効果などにより、前年に比べて、件数、負債総額ともに低水準で推移しています。

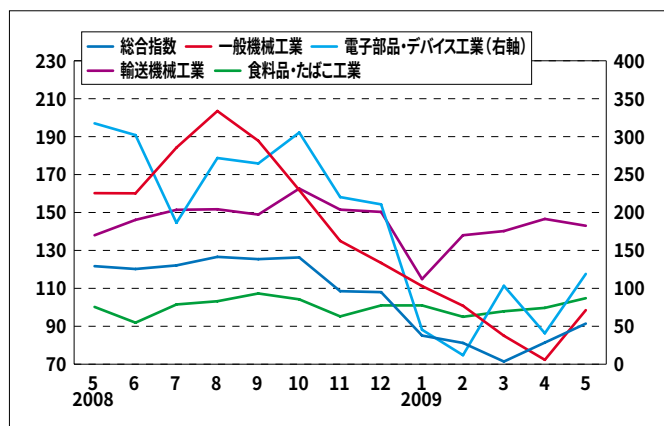
長崎県の最近の経済動向

[長崎県の景気]……………生産活動は持ち直し傾向が続く

生産面では、一般機械や電子部品・デバイスの増加などにより、鉱工業生産総合指数は2ヵ月連続で前月比プラスとなりました。大型小売店販売額は前年割れが続く、住宅投資の動きが弱いものの、県や市町からの前倒し発注に加え、国からの発注増で公共工事は増加しました。

[生産活動]……………2ヵ月連続で総合指数はプラス

長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



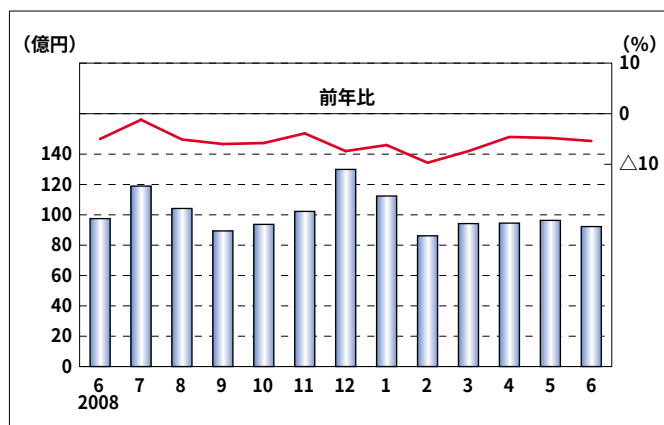
(出所)長崎県

5月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は91.4と前月比12.3%上昇し、2ヵ月連続で上昇しました。

輸送機械は前月比僅かに低下しましたが、ボイラ、タービン、クレーンが寄与した一般機械、集積回路やシリコンウエハが増加した電子部品・デバイスや食料品・たばこ等は前月比上昇しました。

[大型小売店]……………節約志向が続く、前年比5.3%減

長崎県の大型小売店販売額



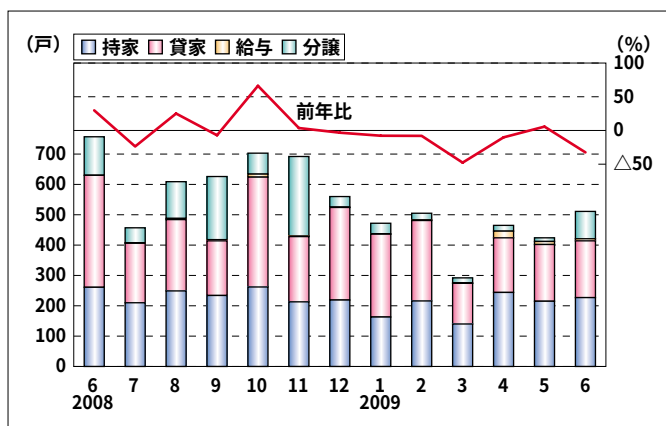
(出所)九州経済産業局

6月の県内大型小売店販売高は、節約志向が続くなか、ギフトセールなどが振るわず、前年比5.3%減の92億円となりました。

業態別にみると、百貨店の販売高は家電が伸びているものの、衣料品や家具の落ち込みで同6.1%減、大型スーパーの販売高は、比較的堅調な食料品が下支えとなり同4.9%の減少に留まっています。

[住宅建設]……………貸家の減少が響き前年比32.5%減

長崎県の新設住宅着工戸数

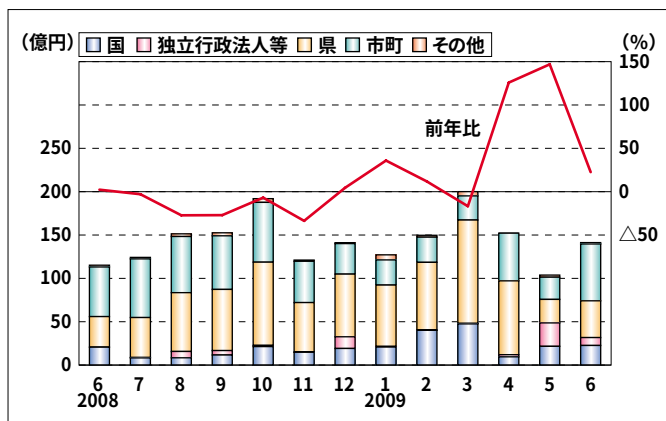


(出所)国土交通省

6月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比13.0%減の215戸、貸家では同49.3%減の187戸、分譲で同29.1%減の90戸となりました。分譲は前月比増加したものの、前年同月の貸家の実績が大きかった反動もあり、全体では同32.5%減の511戸と前年を下回りました。

[公共工事]……………「国」「独立行政法人」等からの受注増で件数金額とも増加

長崎県の公共工事請負高



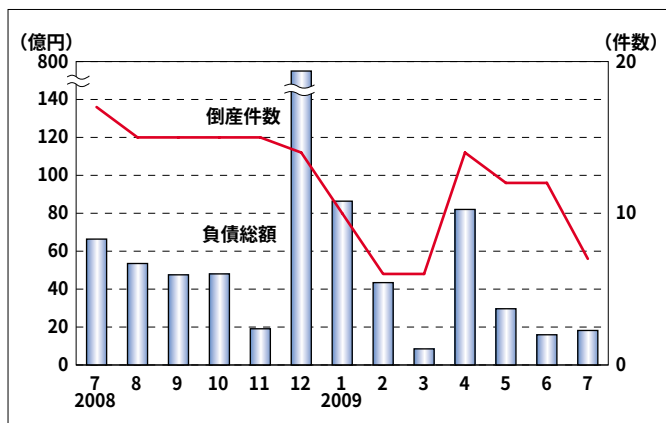
(出所)西日本建設業保証

6月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比35.9%増の390件、金額が同22.6%増の141億円と、件数、請負金額とも前年比大幅に増加しました。

発注者別の請負金額をみると、「国」は佐世保高架橋工事などで、「独立行政法人」では長崎大学病院の改修工事と西九州自動車道で、「県」は工事の前倒し発注などで前年比20.1%増、「市町」では壱岐市漁港整備のほか小口の積み上げで同14.6%増加しました。

[企業倒産]……………件数、負債総額ともに低水準で推移

長崎県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

7月の長崎県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比58.8%減の7件、負債総額が同72.6%減の18億2,000万円となりました。4月以降、公共工事の前倒し発注効果などもあり、件数、負債総額ともに低水準で推移しています。